

■ 厚別山本公園 事業概要

R7.6 札幌市建設局みどりの推進部

➤ 厚別山本公園について

厚別山本公園は、廃棄物の最終処分場である山本処理場(全体面積約 270ha)のうち、埋立が完了した山本地区(約 52ha)を事業地とする総合公園です。公園整備計画の策定にあたっては、①札幌の自然環境を生かしながら、市街地を緑の帯で包み込もうとする「環状グリーンベルト構想」の拠点のひとつ、②休息や観賞、散歩、運動などを目的に市民が総合的に利用できる公園、を基本的な考え方としています。

平成 22 年度に策定された基本計画において、市民参画により、厚別山本公園のコンセプトを『みどり環境づくりのシンボルとなる公園』と定め、ゾーニングなどを計画しています。

◆所在地:札幌市厚別区厚別町山本 1065-1 ほか

◆面積:約 52ha
(都市計画面積、山本東地区検量所など含む)

◆公園種別:総合公園

◆整備概要:
パークゴルフ場(36H)、遊戯広場、多目的広場、展望広場、
ビオトープエリア、環境創造林、園路、駐車場、大花壇、アクションスポーツ広
場、管理棟、トイレ、植栽 等

位置図



南エリア

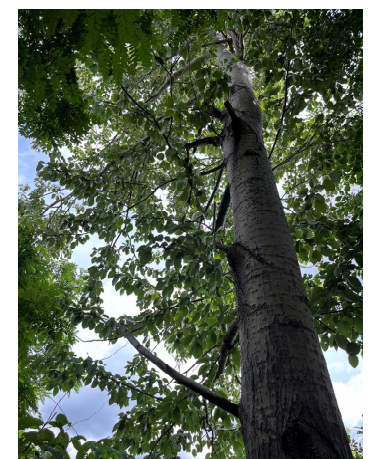


事業スケジュール

令和7年度: 実施設計
令和8年度: 森の遊び場の整備
令和9年度: サイクル広場・管理棟の整備
令和10年度: 交流広場



ヤマグワ



ドロノキ

1. 施設計画

厚別山本公園南エリアは、ゴミ埋立完了から十数年が経過し、先駆種による樹林が形成されるなど自然豊かな環境です。南エリアの整備コンセプトを「自然を育む」・「自然を体感する場所」とし、既存の樹林や草原を活かした整備内容とすることとしています。

1-1 森の遊び場

上記のコンセプトより、既存の樹木等を活かした「森の遊び場」を整備します。森の遊び場は、4つの遊具エリアで構成されそれぞれの整備内容は下記のとおりです。

<草の迷路>

既存の草原をいかし草地を2.0m幅で刈り込むことで迷路をつくります。

<ワクワク広場>

周辺環境になじむような木製で、児童用のアクティブなアスレチック遊具を配置します。

<グルグル広場>

厚別山本公園にしかないようなインスタ映えする魅力的な遊具となるよう、競争性やチャレンジ精神を刺激し、多様な遊び方ができる遊具を設置します。

<ユラユラ広場>

車いすでも遊べる座面タイプのブランコや、体幹が弱い子どもでも遊びやすい回転遊具等を設置します。

<モクモク広場>

既存の大木の下でプレーパーク(自然遊び)ができるような自由広場を設けます。



1-2 サイクル広場

小さい子から大人まで楽しむことができるサイクルコースを検討しています。使用する自転車は、管理者が有料で貸し出しすることを想定しています。

1-3 交流広場

南エリアの中央付近には、炊事広場としても活用できる交流広場を検討しています。

2. 移動円滑化経路

整備する主な施設である管理棟、トイレ、駐車場、一部の遊具広場へつながる園路について、移動円滑化経路として全て5% (1/20) 以下となるよう計画しています。

森の遊び場のうち草の迷路・ワクワク広場・グルグル広場・モクモク広場の地面は木チップ舗装を予定しています。

なお、森の遊び場のうち車いすでの使用を想定している「ユラユラ広場」の地面は、ゴムチップ舗装を予定しています。

3. 駐車場

南エリアは、一般車72台、車いす用駐車区画2台、バス用駐車区画5台、合計79台の駐車場を整備します。

凡例

5% (1/20) 以下の園路	
出入口	
主な施設 (特定公園施設)	

ワクワク広場に設置予定の遊具(アスレチック遊具)

○サスケジャンプ



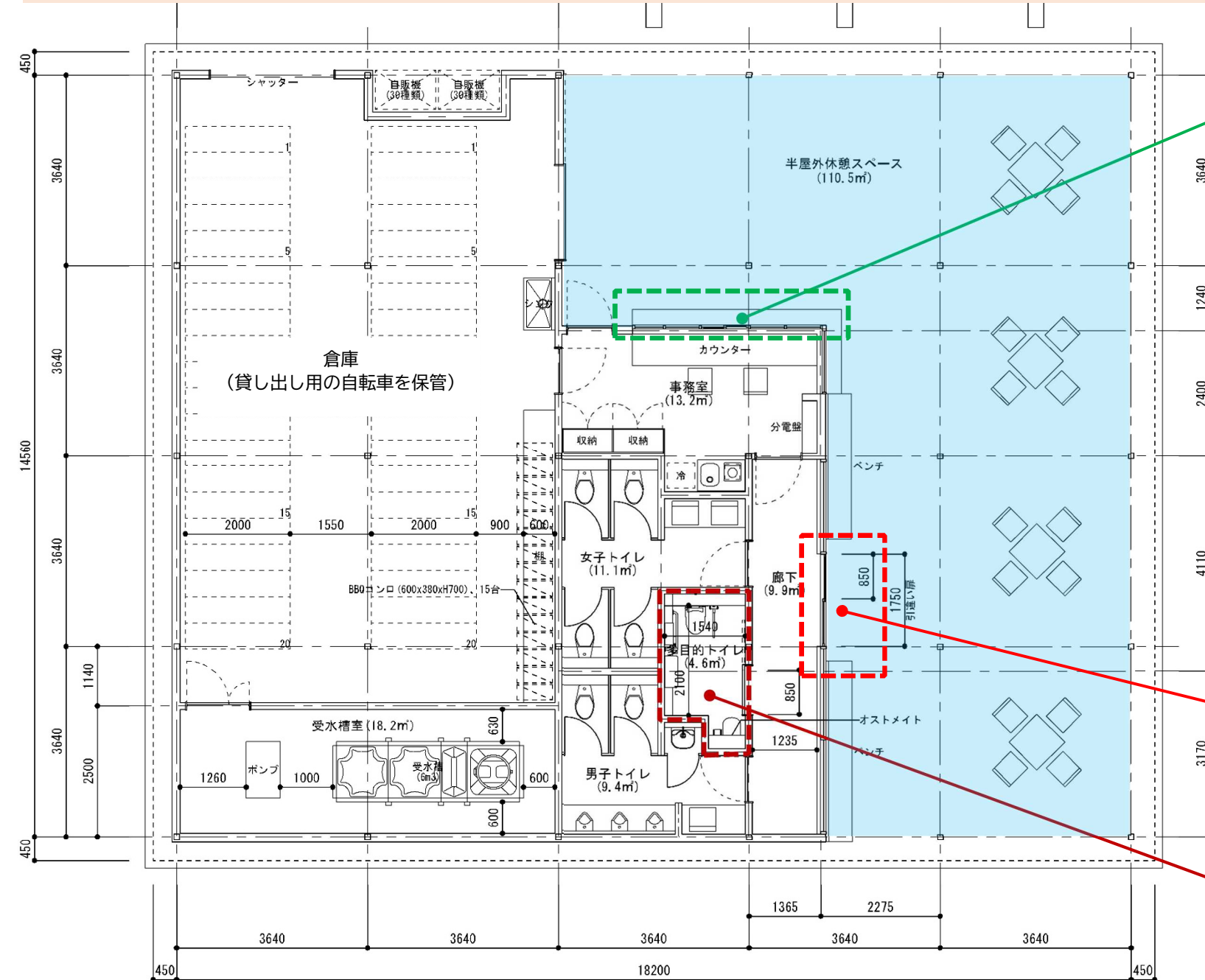
○岩



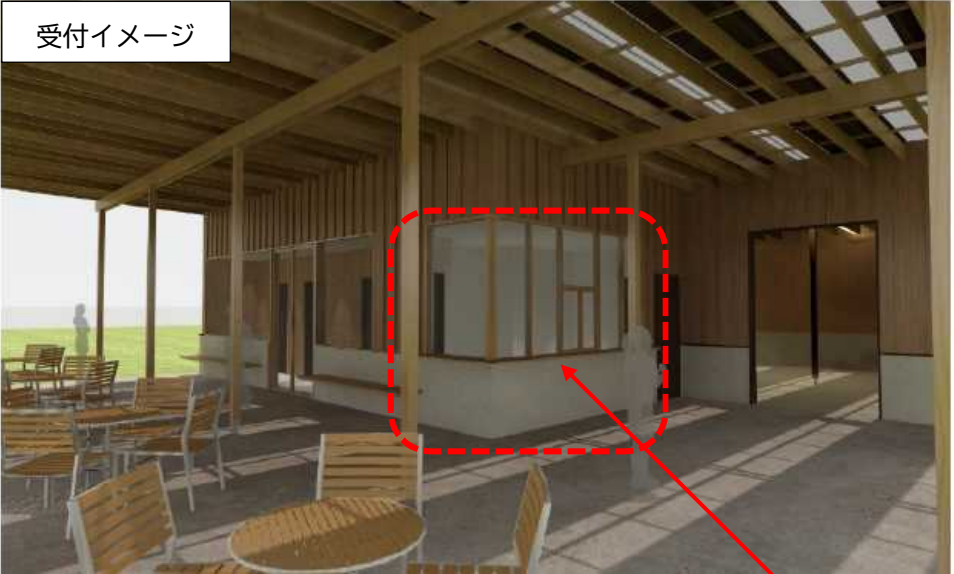
ユラユラ広場に設置予定の遊具(ユニバーサル対応)



建築計画（南エリア管理棟）



- 【受付】
- ・車いす利用者対応のカウンター
 - ・案内表示（ピクトサイン）



受付カウンター

- 【出入口】
- ・風除室（廊下）
 - ・動線にあわせた点字ブロックの設置
 - ・自動ドア
 - ・段差がなく滑りにくい床
 - ・案内表示（ピクトサイン）

- 【多目的トイレ】
- ・オストメイト設備

屋外休憩スペースのイメージ



管理棟への出入り口

